

学校教育目標

豊かな心を育み、主体的に学ぶたくましい茂木っ子の育成
～気づき、考え、実行する 茂木っ子をめざして～

考えをもち、豊かに伝え合う児童の育成

来年度学力テストで、4～6年それぞれ平均との差5pt 改善を目指す。

茂木っ子
学習のスタンダードの確立
○子どもの学びのスタイル
○教師の指導のスタイル
(別紙)

「学習もぎトーク」
～伝え合う活動～
子どもが主体的な想いをもち、考えを交流し、考えを広げたり深めたりする場を仕組む。

ICTの推進
OGIGA スクール構想
チャレンジタイム
○月曜日・水曜日
○キュビナの活用

学びの場のUD化
○物理的UDの徹底
○心理的UDの徹底

子どもを伸ばすための視点 (※数値目標)

①授業改善

- 全体授業と部会授業 (全員授業)
- ICTを活用する授業
- 分かる喜びが実感できる授業
(R6 児童アンケート90.3%)

②規律のある授業 (全学級で)

- 学習規律に関する掲示物
- レディセット(机上の整理)の活用
- 学習のスタンダードの徹底
- 黒板カードの活用

③基礎基本の徹底

- AIドリルの活用 (週2回以上)
- 「めあて・まとめ」のある授業
- リーディングスキルを意識した授業
- 読書の充実と図書室の活用
(低:120冊、中:80冊、高:60冊)

④特別支援教育の視点 (全学級で)

- 物理的なUD化
(教室環境・学習環境の整備)
- 心理的なUD化
(分離礼・一日の見通し・時間の意識)
- 交流学級の連携

⑤支持的風土のある学級経営

- 「もぎトーク」によって、共感的に話し合う雰囲気醸成
- 学び合い活動の充実
- 学校生活アンケート (毎月実施) と個人面談 (毎学期1回実施) で児童理解

⑥家庭・地域との連携

- 「よくわかる茂木小(学校生活と学習の手引き)」を全家庭に配付
- 家庭と連携した「生活リズムチェックカード」の取組 (毎学期1回実施)
- 地域行事への積極的な参加